

特集 活躍の場を広げる企業内診断士

終章

企業内診断士のキャリアパスとは

——キャリアを作る意識，行動する力，貢献する心



安田 雅哉
東京都中小企業診断士協会

1. 先人に学ぶキャリア

中小企業診断士は難関資格の1つである。仕事の合間に試験勉強を重ね、人によっては複数回受験に臨み合格していく。しかし、苦勞して取得した資格をどう生かそうかと悩む中小企業診断士は多い。

本特集では、各方面で活躍する5人の企業内診断士にインタビューを行い、企業内診断士のキャリアパスへのヒントを得ることを試みた。多くの悩める企業内診断士にとって参考になる部分がきっとあると思う。

本特集を締めくくるにあたり、同じく企業内診断士である筆者が本特集で得た資格活用のヒントをまとめてみたい。

2. キャリアを作る

インタビューをさせていただいた5人の企業内診断士にとって、診断士資格取得はゴールではない。キャリアステップの一環である。

資格取得、中小企業診断士としての活動の過程で得た知見を基に、本業での仕事の質を上げる。その結果、経験していなかった新しい場所に行くことができ、さらに多くの知見を獲得する。そしてそれが、また新しい知見を獲得してのさらなる活躍につながる。

本特集で取り上げた5人の企業内診断士は、資格取得をきっかけに新たなキャリアのペー

ジを作っているように見える。

3. キーワードは行動力

キャリアを作る原動力となっているのが、彼らの行動力である。

機会があれば手を挙げる、よいと思ったらやってみる、面白そうな案件と思ったら取り組んでみる。そうして目の前の機会に自分自身をさらし続け、挑戦し続ける企業内診断士の姿が見えてくる。

4. 根底にあるのは貢献したい心

そして行動力の裏付けになっているのは、誰かのために貢献したいという思いである。働く人なら誰もが持っているであろう気概である。勤務先のため、中小企業のため、日本のため、という強い思いが、結果的に中小企業診断士の良いキャリアパスを形づくると思われるのだ。

5. 企業内診断士のキャリアパスとは

企業内診断士は、知見、経験ともにさまざまである。その活躍の仕方は一様ではない。道は無数にある。各々の企業内診断士に最適なキャリアパスを見つけるヒントは意識、行動力、貢献心なのだと感じる。最適解は、各々の企業内診断士の中にある。